

復興観光まちづくりを考える円卓会議

Multistakeholder Forum on
Social Responsibility for a Sustainable Future

▶ お問い合わせ

▶ サイトマップ

▶ サイトポリシー

▶ English

▶ 持続可能な未来のための
マルチステークホルダー・サイトはこちら



社会的責任に関する円卓会議

円卓会議とは
ABOUT

開催情報
MEETINGS

協働プロジェクト
PROJECTS

ニュース&イベント
NEWS&EVENTS

関連リンク集
LINKS

2012年6月28日 午後3時～5時
刑部岬 飯岡灯台 展望館 多目的室
光と風キャンペーン実行委員会
事務局・船倉(千葉科学大学)

(1) 問題と課題

- 【問題】: 解決したい過去
 - ・ 大震災前からある地域の問題点
- 【課題】: 実現したい未来
 - ・ 復興観光まちづくりを実現への課題



(2) 構成員

- 正規委員
- 准委員
- オブザーバー
- アドバイザー
- 事務局

(3) 目的

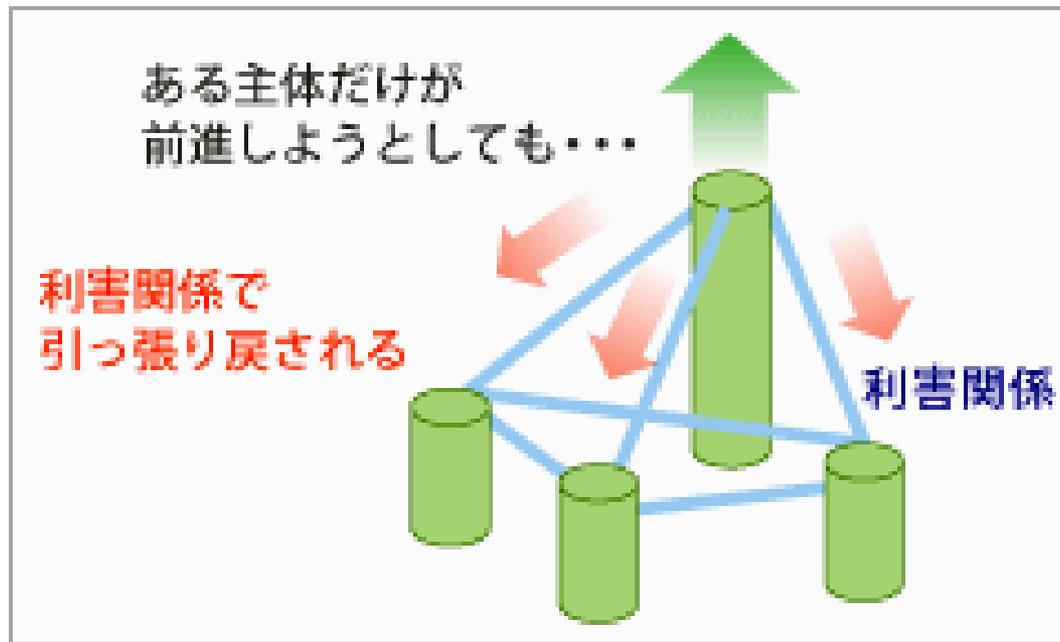
- 第1目標 千葉県連携・協働事業(補助金)
- 第2目標 トヨタ財団 東日本大震災対応助成事業
- 第3目標 中央ろうきん助成プログラム

(4) 成果

- 円卓会議の方式を旭市に定着
- SB(ソーシャルビジネス)の起業
- NPOの創設



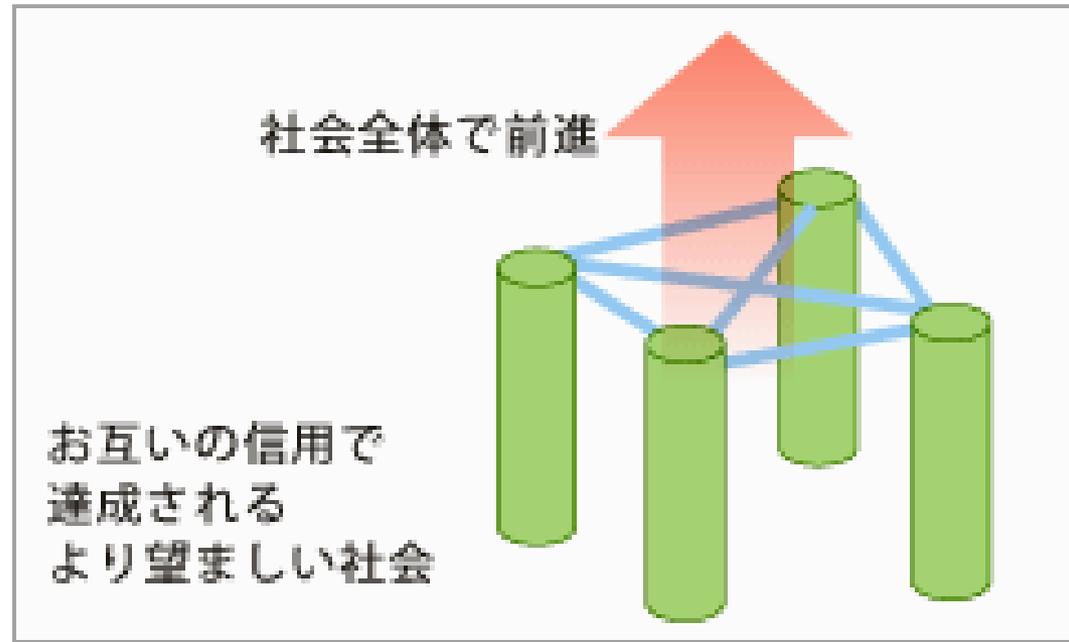
従来の方策がうまくいかない原因



当事者以外

- (1) 事実を知らない
 - (2) 協力の仕方がわからない
 - (3) 解決策を進められると困る
 - (4) 自分には関係ない
- ⇒ 解決策の前進しない
関係が崩れる

問題解決／課題解決を成功させる



円卓会議

- (1) 情報を共有した仲間がいる
 - (2) 気がつかないところで支えられる、
 - (3) 妥協が図られている
 - (4) 足を引っ張られない
- ⇒ 小さくても一歩進む／関係が持続する

運営についてのガイドライン

(1). 全体最適の追求

- 関係者が一堂に会した解決 (一同ではない)
- 部分の最適解が全体の最適解とは限らない (利益相反)
- ビジョン(未来)の共有化

(2). 主体的行動

- 命令・指示はない
- トップダウンでもボトムアップでもない
- 自主自律(各々がリーダー)

(3). 活動

- 共同ではない (集まって同じ事をするのではない)
- 協同でもない (助け合って同じ事をするのでもない)
- 協働である (それぞれの役割を分業/分担)

(4). 学習する会議

- 教育ではない (育てられるのではない 受け身でない)
- 勉強でもない (刻苦勉励・強制でない)
- 学習である (学び合うこと 見習うこと)



意思決定

(0) 正規委員で行う

(1) 原案への態度

- 作成へ敬意を払う
- 賛成するとは、傍観ではなく参加
 - ヒト・モノ・カネ・時・所など、様々な形態
- 100%の賛成はありえない 妥協しよう
- 反対するとき対案(修正案)を用意しよう

(2) 小さな一歩は偉大な一歩

- 具体的な行動を通じて信頼感は育つ
- 信頼があるから協働できる
- 協働とは従来の枠組みを超えた協力関係



ラウンドテーブルの運営

(1) 主体的な参画

- ・出席したら、必ず発言しよう

(2) 互尊互敬

- ・互いに、敬意をもとう

(3) 柔軟な代表

- ・良き未来の実現のために行動（発言・判断の基準）
 - ・組織・分野・地域・仲間をアピール（発言する）
 - ・円卓会議の成果をそれぞれの立場へ還元

(4) 協働による創造

- ・既存の仕組み・手法の限界を率直に認めよう
- ・多様の協働によって創造される価値を信じよう

(5) 開かれたコミュニティ

- ・新しい参加者を歓迎しよう



マルチ・ステークホルダー・プロセス

- マルチ

- 多様・複雑・総合であること

- モノカルチャーに染めない／染まらない
- みんな違ってみんないい

- ステークホルダー

- 個人・組織・行政のこと

- 既成の価値基準での序列・区分は用いない

- プロセス

- 過程

- 最終結論や成果を得るまで時間を待てない

- ざっくばらん運営（ラウンドテーブル）

- きっちり作業（ワーキンググループ／プロジェクト）

